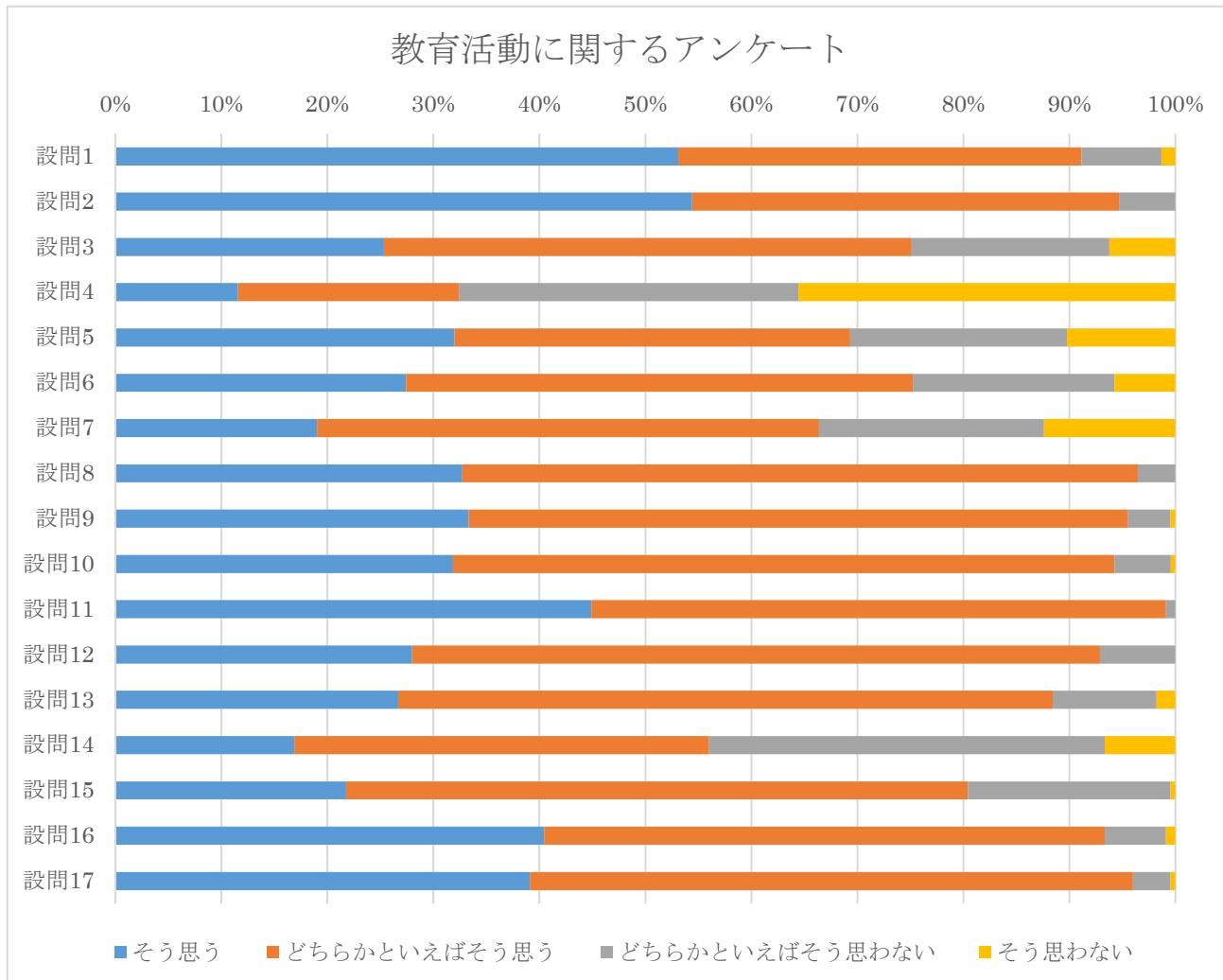


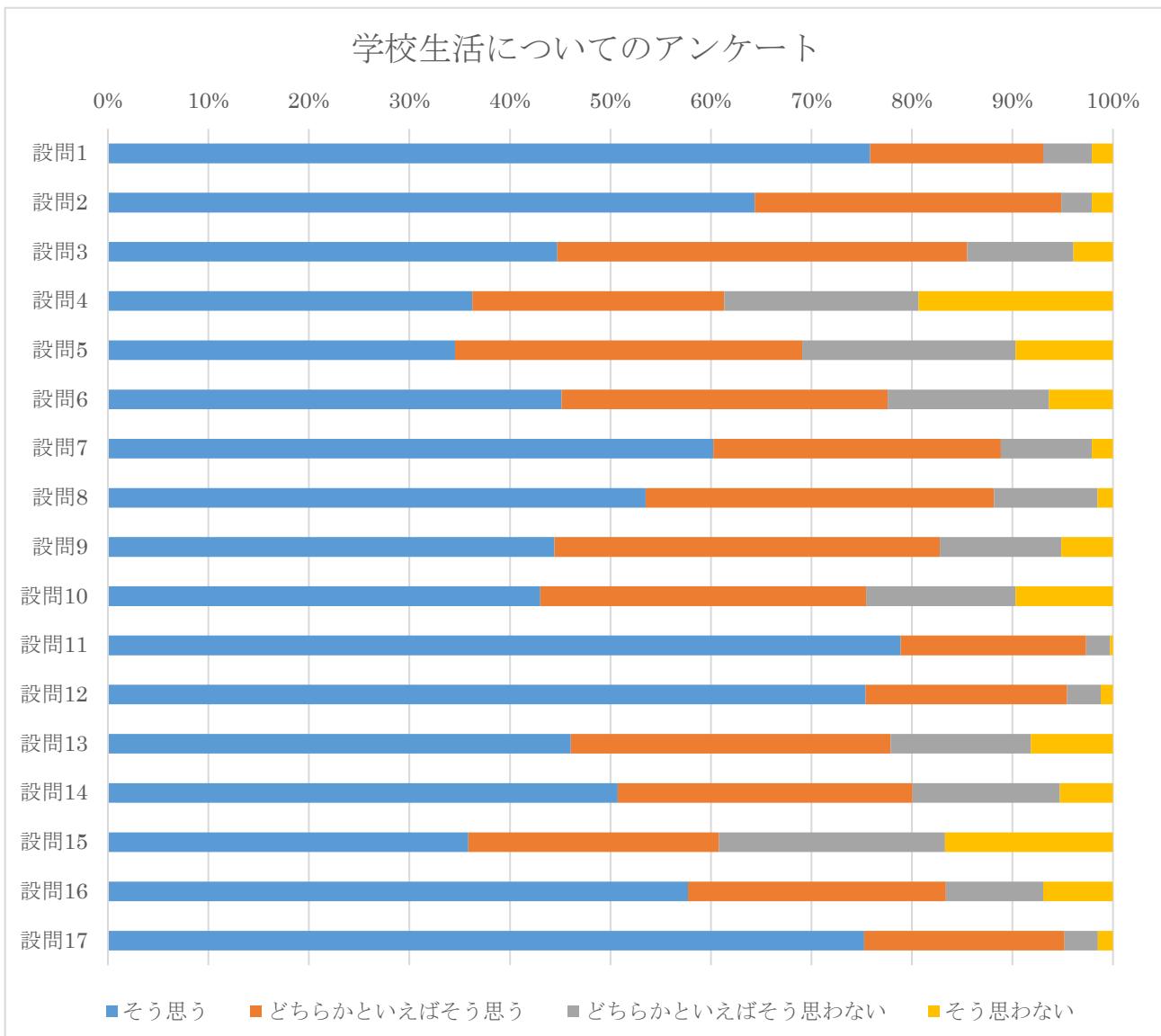
保護者の皆様には7月に実施した教育活動に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集約した結果をご紹介します。いただいた貴重なご意見を今後の学校の教育活動に生かしていきます。

【アンケートの結果】(保護者)



- 設問 1 お子さんは楽しく学校に通っている。
設問 2 お子さんは友達となかよく過ごしている。
設問 3 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいる。
設問 4 お子さんは家庭ですすんで本を読んでいる。
設問 5 お子さんは早寝・早起きができる。
設問 6 お子さんは家庭でバランスよくごはんを食べている。
設問 7 お子さんは家庭での学習の習慣が身についている。
設問 8 学校はルールを守り、けじめのある行動がとれる子どもを育てている。
設問 9 学校は子どもたちが先生や友達の話を聴いて、しっかり考える授業づくりに努めている。
設問 10 学校は授業や「お話タイム」などを通して、人の話を聴いたり、自分の思いを話したりする活動の充実に向けて取り組んでいる。
設問 11 学校は避難訓練をはじめとし、常に子どもの安全を考えている。
設問 12 学校は交通ルールなどのきまりを守り、「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもを育てている。
設問 13 学校は教育方針や子どもたちの教育活動の様子を、学校新聞・学年通信・ホームページなどで、よくわかるように伝えている。
設問 14 学校は学校や地域の人たちにすすんでいきさつできる子どもを育てている。
設問 15 学校は「朝の読書」や授業、休み時間などを使い、読書指導を積極的に行っている。
設問 16 先生は子どものよさを認め、伸ばそうとしている。
設問 17 先生は授業をわかりやすくするための工夫をしている。

【アンケートの結果】(児童)



設問 1 学校は楽しい。

設問 2 友だちと協力して仲よく過ごしている。

設問 3 すすんで学習している。

設問 4 家で本を読んでいる。

設問 5 いつも早寝、早起きをしている。

設問 6 ごはんは、好ききらいなく食べている。

設問 7 家で宿題や勉強をきちんとしている。

設問 8 きまりや約束を守っている。

設問 9 話をよく聞いて、考えたり意見を言ったりしている。

設問 10 お話しタイムや授業で発言している。

設問 11 避難訓練に真剣に取り組めた。

設問 12 交通ルールやマナーを守っている

設問 13 学級通信や学年通信を読んでいる。

設問 14 学校の行き帰りなどに、地域の人に対するすみやかさつをしている。

設問 15 学校で本をたくさん読んでいる。

設問 16 授業で褒められてうれしかった時がある。

設問 17 先生は、わかりやすく教えてくれる。

(ご意見・ご要望)

- ・森田杯や「なつとなかよし」など、子どもたちが楽しみながら学べる機会を作っていただき、ありがとうございます。
- ・子どもたちが自分の得意とする事で輝けるような機会を与えてあげてほしいと思います。

学校訓「開拓魂」のもと、失敗を恐れずチャレンジすることのすばらしさを感じてほしい、たくましく育ってほしいと願っています。昨年度より「やってみよう」を合言葉にしてきました。本年度は執行部を中心となり、「チャレンジ豊～できないことをやってみよう」というスローガンを掲げてくれました。そして、子どもたちの発案で「やってみ王」というイベントを開催しました。有志を募り、みんなの前で自分のチャレンジを披露するというものです。このような子ども主体の企画を全校みんなで楽しめたことはよい経験になったと思います。また、夏休みチャレンジという課題も今年度実施し、9月にはその成果を学級で発表し合いました。(チャレンジへのサポートだけでなく、動画や写真撮影などまで、ご協力いただき、ありがとうございました。) 子どもたちの自ら伸びようとする芽を大切にしながら、楽しく活動に取り組み、その子のよさを發揮できるようにしていきたいと思います。

- ・授業を時間ベースではなく、タスクベースで進めることで、子どもたちが自分のペースで学びやすくなり、主体的に行動できるようになると思います。時間に追われる事が減り、心にゆとりを持って学習に取り組めるのではないかでしょうか。
- ・漢字コンクールに向けての練習を宿題でもっと取り組めるようにして頂きたいです。宿題ではやらず、自習のみでいきなり本番だと大変な子が多いのでは?と思ってます。

「時間ベース・タスクベース」がそれぞれ「時間を決めて取り組む・何をどれだけやるかを決めて取り組む」という解釈でよいとすれば、個によってどちらが合うかわかれるところではないかと個人的には思います。(もし解釈が違っていたら申し訳ありません) 学校は学習塾とは異なるため、どのような場面で生かしていくかを考える必要もあるでしょう。「個別最適な学びと協働的な学び」の重要性が叫ばれている昨今ですので、参考にさせていただきますね。貴重なご意見、ありがとうございます。

コンクールでは、高学年に上がるにつれて宿題用のプリントを出さない方針を取っていますが、宿題を出していない・自習のみ…というわけではありません。一人一人、理解の度合いや力を入れるべきところは違います。与えられたプリントを機械的にやり、宿題を出すことによしとしてしまうのではなく、何をすべきか考えて学習できる子に育てたいという思いで取り組んでいます。今後、タブレット端末の更新に伴い、新たなアプリが導入されます。夏休みに教員も研修を受けました。これらの活用も工夫しながら、宿題や個別学習への取り組み方を検討していきます。手探りの部分もありますが、粘り強く取り組んでいきます。

- ・授業参観は、親子体験型にしてほしい。たた静かに見ているだけじゃ学校生活がわからない。

授業参観では、日常の子どもたちの様子をお伝えすることを目的としています。(とはいって、お家のかたが見ていると思うと緊張して静かになったり、興奮してしまったりと、ふだんとは少し違う姿を見せる子も少なくないですが…) 昔、どの学校でもあったような親子体験活動等を行う予定は今のところありませんが、学級や授業によっては、参観している保護者のかたに質問や意見を求めたり、楽器演奏に歌で参加してもらったりという場面もあったようです。「口を挟まない。手を出さない」というお願ひのもと、図工の制作に取り組むお子さんのすぐ近くで参観をしてもらった学級もありました。そのような形で保護者のかたが参加できる授業を今後増やせるように検討してみますね。また、参観日にはゆたかカードに温かい言葉を書いていただき、毎回ありがとうございます。

- ・マラソン大会が今年からなくなりましたが、行った方が良いと思います。カリキュラムにマラソンがないとの事でしたが、昨今子どもの運動能力が下がっているし一部の子は大会に向けて練習しています。入賞したい、1位を獲りたいという気持ちは成長過程には大事なことではないでしょうか。運動会も1日で開催してほしい。イベント事が簡素化しそうしている気がします。
- ・先生方が子どもたちのために、尽力してくださること、感謝しております。今年度からマラソン大会がなくなりました。突然の知らせで驚いたお子さん、保護者の方がたくさんいたこと感じております。このような大きな行事の廃止は何らかの形で保護者や子どもたちに事前にお話ししていただけると、保護者としても納得できます。多忙化解消や行事の精選することは仕方のないことだと承知しております。ですが、学校と子どもたち、また保護者でよりよくしていけるよう、考えられるようにしていただきたいです。
- ・いつも温かく子どもたちを指導してくださり、感謝しております。いろいろな先生方が子どもたちを見守って支えてくださっていること、子どもの話や様子から感じております。今年度から、マラソン大会がなくなりました。息子の今年度の目標がマラソン大会についてだったので、本人はとてもがっかりしております。このような大きな行事が廃止になる際は、子どもの意見を聞いたり、保護者に事前にお話がほしかったです。今後は、縄跳びで持久力をつけていくとの方針ですが、中学校では、体力測定で1000メートル走があるとききました。長い距離を走っていない子ども達が中学校で他のお子さんと同じように持久走に挑めるのか不安を感じます。学校だけでなく、家庭でも子どもの体力をつけることや学ぶ力につけることは支えていかなくてはいけないと感じております。学校でも子どもたちが達成を感じじうことができることを引き続き考えていくたいです。
- ・マラソン大会を今後中止にするというのには、まだどうしても納得がいきません。

行事の見直しを図る段階において、保護者の皆様や子どもたちの意見を問う場を設けなかったことをお詫びいたします。大いに反省すべき点です。申し訳ありませんでした。

さまざまな面で学校が様変わりし、物足りなく思われる保護者のかたも多いかと思います。また、こうした行事で輝くことのできる子の活躍の場を奪ってしまうことになるのは、大変心苦しく思います。市内においても、各校でマラソン大会の取り組み方は以前のものと変わりつつあります。本校でもさまざまな課題が出ておりました。そこで、一年あるいはもっと長いスパンで継続し、力をつけていくような活動に重点をおいて全校で取り組む・個に合った課題で一人一人が自己の力を伸ばすといったことを大切にしていくという考え方のもと、変更することに至りました。中学校での体力測定の問題も承知しております。体育の時間ではこれまで同様、持久走を扱っていきます。こうした経緯について全てをお伝えしておらず、説明不足になっていた点につきましてもお詫び申し上げます。縄跳びを取り上げる理由については、学校HPの「日々の様子」(令和7年度6月13日付)にも記しておりますので、ご一読いただけますと幸いです。

- ・プールの授業をもう少し増やしてほしい
- ・学校の使用しなくなったプールの水が約5年間ほど放置されていると思いますが、害虫の発生など気になります。他校では抜いている学校もありますが、そのままにしている理由はなんでしょうか。また、サーラで水泳授業を受けることに反対ではありませんが、回数があまりにも少なすぎると思います。水泳の授業が始まったのは水難事故を防ぐためと認識していますが、子どもたちの泳げる能力が年間3回だけの授業で向上しているとは思えません。教育委員会のアンケートでも増やしてほしい旨を記入していますが反映されるどころか減りました。どうしたら保護者の意見は反映されるのでしょうか。

「民間プール等活用事業」については、もっと早い計画で市内全校の導入が予定されていましたが、さまざまな状況の変化があり、ようやく昨年度、市内のほぼ全ての学校で実施が可能となりました。時間を増やしたいのは教育委員会も学校も同じです。地域によってはバスでの移動が必要となりますが、燃料費の高騰化やバス運転手不足の影響、受け入れ先の不足などのさまざまな理由で回数の増加は厳しいです。室内であることから、熱中症指数による授業中止がなくなり、温水プールで季節を問わず取り組めるようになりました。また、インストラクターがサポートに入ることにより、指導面でも安全面でも向上が見られています。更なる成果を求めて事業拡大を願っていますが、諸事情による回数設定であり、この回数がねらいに対して適当と判断したことではないことをご理解いただけたらと思います。

また、学校にあるプールですが、放置された状態であることは私どもとしても懸念をしております。衛生的に見た目にもよい状況ではないまま放置となっており、ご心配をおかけします。現在、プール跡地の扱いについて検討をしております。取り壊し等にはかなりの費用がかかりますので、簡単に話が進まないという状況です。見通しがつき次第、水抜き等の作業にも着手する予定です。しばらくは現状維持となります、ご了承ください。

- ・設問14の挨拶は、親同士が小学校で出会っても顔見知りでなければ挨拶しないのに、こどもに地域の人にまで挨拶させるのは難しいと思います。こども園では先生も親同士もニコニコして挨拶していた。小学校や地域はニコニコが少ないと思う。親が地域の人に笑顔で挨拶することで、結果的に子どもたちを守ることになることを学校発信でもっと伝えて欲しい。
- ・いつもお世話になっております。旗当番をしていて思うのですが数年前よりも確実に挨拶は少なくなり声も小さくなっています。このご時世、知らない人に挨拶をする事に抵抗があるかもしれませんのがやはり挨拶は大人になった時にとても大事なことだと思います。家庭でも勿論伝えてはいきますが、学校でも挨拶指導をお願いします。社会性豊かな子に育ってほしいものです。

挨拶は豊小の課題でもあります。1学期に執行部が「今月のめあて」で取り上げたおかげで、以前より挨拶の声が元気になってきた印象でしたが、9月はまた振り出しに戻ったように感じます。休み明けであること、朝は暑くて登校するのに必死…といったことが影響しているのでしょうか。学校に来てしまえば、校内ですれちがったときやお客様がいらしたときなど、さまざまな場面でしっかりと挨拶ができるのですが、交通指導に立ってくださる地域や保護者のかたには殆ど挨拶をしない…という子も多く、残念に思っています。保護者のかたからも、下校後に近所で会うと挨拶ができるのに、交通当番で会うと挨拶しないことがあるという声がありました。9月末の朝会でも今一度、生活三則の大切さを話しました。教職員も手本となるような挨拶を心がけていきますね。保護者の皆様もぜひご一緒によろしくお願いいたします。

- ・年々熱中症の心配が増します。日傘使用の推奨や、体育館エアコン設置の早急な対応をお願いしたい。
- ・ウォーターサーバーを設置して欲しい。
- ・お茶が無くなった際に、外の生ぬるい水ではなく、衛生面も含めて冷たい水を補給出来るように、冷水器（水筒に補充出来るタイプ）の導入を真剣に考えてほしい

日傘は使用可としており、登校時に差している子は少なくありません。ぜひご利用ください。体育館エアコンの設置は、校区の避難所となる学校から随時設置の計画が進められておりますので、豊小につきましては今しばらくお待ちいただければと思います。

ウォーターサーバーは学校予算内での設置は厳しいです。維持管理費も含め、予算の捻出先を探す必要があります。今の段階では、できるだけ水筒に十分な量の水分を持ってきていただくようご協力をお願

いいたします。

- ・急な激しい雨や雷の下校の時は 帰りが遅くなってもよいので、しばらく学校で待機させてもらいたい。前回、時間を早めて帰って来た時、全部びしょ濡れでランドセルの中まで濡れてしまい大変だったし、時間を早めるなら 30 分くらい早めてくれないと学校から遠い家だと意味がない。
- ・スマートフォンや、メディアの使用方法、性被害について、実際に起きた事件例などを交えて指導する機会を多く設けてほしい。家でも指導しているが、授業として取り組む事で、子ども自身にも身近な問題ととらえてほしい。

前回の下校では、ご迷惑をおかけいたしました。天候が悪化しないうちに下校できるように、雨雲レーダーや天気予報のデータとにらめっこをしながら判断しておりますが、近隣の学校と対応を相談したり、下校後のことを考えて事前に保護者様宛にメール配信をしたりするため、実際の下校時刻に天候が変わってしまう場合があります。子どもの安全確保がいちばんの重要事項ですので、今後もできるだけ尽力してまいります。

さまざまな諸問題についても、安全意識を高める取り組みが必要ですね。SNSについては出前授業のほか、発達段階に応じて情報モラルの指導に取り組んでおります。また、地域の医療関係者を講師に招聘して包括的性教育の授業を行ったり、生活チェックの中で市内一斉のメディアコントロールチャレンジなどを実施したりといったことも行っております。子どもたちの不安を過度に煽らないように留意しながら、実際の事件例なども取り上げていけるとよいと思います。貴重なご意見として参考にさせていただきます。ありがとうございました。